

8.e.指定管理業務評価表(自己評価)

第4号様式 指定管理業務評価表(所管課評価基準表)

施設名	富士見市立図書館鶴瀬西分館	令和5年度	事業報告
指定管理者名	株式会社 図書館流通センター	所管課	教育委員会 生涯学習課
指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和7年3月31日	自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)	

個別評価項目		自己評価	所管評価	施設所管課評価意見	
1 業務の実施体制	人員体制	安定的な運営の為に人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用者対応を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、節度、服装等が適切である。	A	A	
	法令等の順守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護・情報公開	個人情報保護及び情報公開に関する規定が整備され、適切に対応できる。基本協定書個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
安全・緊急対策	緊急時マニュアルの策定とそれぞれに基づく訓練の実施、連絡・対応体制の整備ができています。	A	A		
報告書の提出	定期報告書等を期限内に提出している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		施設・設備・図書館システムの保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設をりようできている。	A	A	
		修繕を適切に実施している。	A	A	
		備品台帳に基づき備品を適切に管理している。	A	A	
		外部委託の内容について、事前に市の承認を受けている。	A	A	
	事業運営	条例等の規定に基づき、開館日時を遵守している。	A	A	
		資料選定・受入業務が適切に行われている。	A	A	
		資料管理業務が適切に行われている。	A	A	
		窓口サービス業務が適切に行われている。	A	A	
		レファレンス業務が適切に行われている。	A	A	
		図書室・公共施設サービスが適切に行われている。	A	A	
		ホームページや広報紙等での広報活動が適切に行われている。	A	A	
		視聴覚ライブラリー業務が適切に行われている。	A	A	
		障がい奉仕業務が適切に行われている。	A	A	
		児童・YA向け事業が適切に行われている。	A	A	
一般向け事業が適切に行われている。	A	A			
提案事業が適切に行われ、利用者サービス向上に寄与している。	A	A			
地域、ボランティア、他機関との連携に努めている。	A	A			
利用者の要望	利用者の要望等の把握方法及び対応策は適切である。	A	A		
利用状況	利用者数、貸出点数等は、適切な水準にある。	A	A		
管理記録	業務日誌及び点検、修繕の履歴を適切に記録、整備、保管している。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	収支状況及び経理事務	収支の状況及び経理の処理が適正である。	A	A	
総合評価		A	A		
成果・課題等	(自己評価) 【成果】 ・学校連携事業の充実が図られている。特に、併設のつるせ台小学校と鶴瀬小学校、関沢小学校との連携が進んでいる。 ・特につるせ台小学校では、分館長が学校運営支援者協議会の委員となり、入学式、卒業式、音楽会、運動会、学校公開などに参加し、学校と深く関わりを持っている。 ・令和4年は、ひまわり学級については、図書館側から伺っていたが、令和5年からは以前と同様、鶴瀬西分館の集会所で読み聞かせをしたあと、好きな本を選んで帰るようになった。 ・併設のつるせ台小学校校庭の芝生の上でのおはなし会を実施した。 ・恵愛病院・NPO法人ふじっこ・夢みらいとの連携事業で、子どもたちに本を読む活動を行った。 ・難波田城資料館等の連携企画を実施し、また来年度の水子貝塚資料館との連携企画も計画できた。 ・令和6年度より、英語とやさしい日本語の利用案内を配布できる準備をした。 ・YAサポーターの活動も定期的の実施でき、行事のお手伝いに参加していただいた。 ・まちづくり協議会に参加し、地域のおまつりなど地域の活動も積極的に行った。 【課題】 ・併設のつるせ台小学校でも、団体貸出のない学年がある。年度初めに利用実績や利用単元についての報告もさせて頂き、当年度の利用をスムーズにしていく工夫もしているが、各学年とも利用して頂けるようにさらにご案内していきたい。 ・YAサポーターについては、さらに皆さんのアイデアを活かしていきたいように、図書館側も動いていきたい。 ・放課後児童クラブなどとも、さらに利用していただけるように連携していきたい。				
	(所管評価) 複合施設の図書館の特性を生かし、学校や地域と連携した事業を実施した。病院やNPOと連携したおはなし会を開催するなど本に親しむイベントを開催し図書館の利用促進を図った。英語やさしい日本語のパンフレットを作成し、図書館の平等利用を図った。これらの年間状況から判断して総合評価はAとする。				

※評価区分

① 個別評価	AA(優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。
	A(良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。
↓	B(問題含) = 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。
	C(要改善) = 協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
② 総合評価	AA(優良) = 評価表の個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良好) = 評価表の個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含) = 個別評価すべてB以上あり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善) = 上記以外